

テーマ：見え方が広がる対話のコツ（基礎編）

 10月17日（土）開催

 町内外16名の方が参加

 講師は津屋崎ブランチLLP代表
山口寛さん

山口さんから対話の重要性について事例を交えてお話していただいたのち、対話と討論の違いを説明してもらいました。



講師の山口さん



当日の様子

1. 「対話（Dialogue）」と「討論（Debate）」の違いとは？

話し合いには大きく分けて「対話」と「討論」があります。
PLATが大切にしているのは「対話」です。



項目	対話（Dialogue）	討論（Debate）
前提	「知らない」がベース（自分の知識を疑う）	「知っている」がベース
関係性	「私たち」（共に探求する仲間）	「私とあなた」（勝ち負け・戦い）
目的	違いから新しい気づき・アイデアを見出す	どちらが正しいか論破する



常識や自分の「知っている」を一度疑い（アンラーン）、立場や話すのが得意・不得意に関わらず自由な思いを話せる場をつくることが大切です。

2. 対話を促進するファシリテーターの心得



みんなで心地よい話し合いの場をつくるためのコツをご紹介します。



発言がない時：
すぐに指名せず、少し待ってみる。



聞き役に回っている人へ：
「ここまでの話を聴いて、何を感じましたか？」と優しく振ってみる。



同じ人が続けて話す時：
「他の方はいかがですか？」と均等に聴く機会を作る。



傾聴の姿勢：
「うん、うん」「なるほど」と大きくうなずきながら聴く。

編集後記

今回は「対話とは何か」「ファシリテーターとしての心得」について学びました。次回は、たくさんの意見が出たときに、みんなが納得感をもちながら意見をまとめるコツを学びます。次回からの参加も大歓迎です！
担当：地域振興課協働推進係 半田 遥